



システム レポート

- CAR システム レポート (1 ページ)
- QoS システム レポート (4 ページ)
- トラフィック システム レポート (14 ページ)
- FAC/CMC システム レポート (21 ページ)
- 迷惑呼の詳細システム レポート (24 ページ)
- 優先コールの要約システム レポート (25 ページ)
- システム レポート (27 ページ)
- CDR エラー システム レポート (29 ページ)
- システム レポートの結果 (32 ページ)

CAR システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：各ユーザのコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務権限に応じて、一部のレポートを表示するためのアクセス制限が設定されている場合があります。

システム レポートの要約の説明

CDR Analysis and Reporting には、マネージャ用と CAR 管理者用のシステム レポートがあります。マネージャまたは CAR 管理者は、QoS 要約レポートにアクセスできます。CAR 管理者だ

けが、他のすべてのレポートにアクセスできます。この項では、次のレポートについて取り上げます。

• QoS

- 詳細：CAR 管理者が使用できます。QoS 詳細レポートには、指定した期間に Unified Communications Manager ネットワークで着信コールと発信コールに分類される QoS レーティングが表示されます。システム全体でユーザレベルでのすべてのコールの音声品質をモニタするには、このレポートを使用します。ユーザが選択する CDR パラメータ、CMR パラメータ、および QoS パラメータのコールの詳細により、特定の音声品質カテゴリをコールに割り当てるための基礎情報が示されます。
- 要約：マネージャおよび CAR 管理者が使用できます。このレポートには、指定されたコールの分類および期間に達成された QoS グレードの分布を示す 2次元円グラフが示されます。また、レポートには、各 QoS のコールが要約された表も示されます。ユーザが選択する CDR パラメータ、CMR パラメータ、および QoS パラメータのコールの詳細により、コールを特定の音声品質カテゴリに割り当てるための基礎情報が示されます。ネットワークを介してすべてのコールの音声品質をモニタするには、このレポートを使用します。
- ゲートウェイ別：CAR 管理者が使用できます。このレポートには、ユーザが選択した QoS 基準に一致する、選択された各ゲートウェイでのコールの割合 (%) が表示されます。このレポートは、時間ごと、日ごと、または週ごとに生成できます。
- コールタイプ別：CAR 管理者が使用できます。このレポートには、ユーザが選択した QoS 基準に一致する、選択された各コールタイプでのコールの割合 (%) が表示されます。このレポートは、時間ごと、日ごと、または週ごとに生成できます。

• トラフィック

- 要約：CAR 管理者が使用できます。このレポートには、指定した期間のコール量に関する情報が示され、選択したコールタイプおよび QoS 音声品質カテゴリだけが含まれます。時間ごと、日ごと、週ごとに実行されたコール数を特定するには、このレポートを使用します。このレポートを使用すると、キャパシティプランニング目的で、トラフィック パターンが高い場合と低い場合を確認できます。
- 電話番号別の要約：CAR 管理者が使用できます。このレポートには、指定した期間および一連の電話番号のコール量に関する情報が示されます。ユーザが選択したコールタイプおよび電話番号だけが含まれます。レポートは、時間ごと、日ごと、または週ごとに生成できます。このレポートでは、指定するユーザ全体における使用状況レベルを集約することによって、使用率が高いユーザまたはグループを特定できます。

• FAC/CMC

- クライアント識別コード：CAR 管理者が使用できます。このレポートを使用すると、管理者は、発信番号と接続先番号、コールが発信された日付と時刻、コールの接続時間（秒単位）、および選択された各クライアント識別コードに関連するコールのコール分類を参照できます。

- 承認コード名：CAR 管理者が使用できます。このレポートを使用すると、管理者は、発信番号と接続先番号、コールが発信された日付と時刻、コールの接続時間（秒単位）、コール分類、および選択された各承認コード名に関連するコールの承認レベルを参照できます。
- 承認レベル：CAR 管理者が使用できます。このレポートを使用すると、管理者は、発信番号と接続先番号、コールが発信された日付と時刻、コールの接続時間（秒単位）、承認コード名、および選択された各承認レベルに関連するコール分類を参照できます。
- 迷惑呼の詳細：CAR 管理者が使用できます。Unified Communications Manager 迷惑呼 (MCID) サービスは、迷惑コールを追跡します。迷惑呼詳細レポートには、指定された日付範囲での迷惑呼の詳細が表示されます。
- 優先コールの要約：CAR 管理者が使用できます。Unified Communications Manager Call Precedence サービスを使用すると、認証されたユーザは優先度の低いコールをプリエンプション処理できます。CAR 優先コール要約レポートの PDF 版には、選択した各優先レベルについて、時刻、曜日、または日付ごとに、棒グラフの形式で優先値に対するコールの要約が表示されます。CAR により、各優先レベルに関する 1 つのグラフ、コールレグの数のリストが表示された各優先レベルに関する表、および、優先レベルごとのパーセントによる分布が要約された補足表が生成されます。CAR では、必要に応じてレポートが作成されます。レポートは自動生成されません。
- システム概要：CAR 管理者が使用できます。Unified Communications Manager リリースのネットワークの概要を参照するには、システム概要レポートを使用します。システム概要には、次のレポートがあります。
 - 料金を基準とした上位 5 人のユーザ
 - 料金を基準とした上位 5 件の接続先
 - 料金を基準とした上位 5 件のコール
 - 接続時間を基準とした上位 5 人のユーザ
 - 接続時間を基準とした上位 5 件の接続先
 - 接続時間を基準とした上位 5 件のコール
 - トラフィックの要約 - 時間：着信コール、内部電話、国際電話、市内電話、長距離電話、オン ネット コール、その他のコール、タンデム コール、および全コール
 - トラフィックの要約 - 曜日：着信コール、内部電話、国際電話、市内電話、長距離電話、オン ネット コール、その他のコール、タンデム コール、および全コール
 - トラフィックの要約 - 日付：着信コール、内部電話、国際電話、市内電話、長距離電話、オン ネット コール、その他のコール、タンデム コール、および全コール
 - QoS の要約
 - ゲートウェイの要約

- CDR エラー：CAR 管理者が使用できます。このレポートには、CAR Billing_Error テーブルのエラー レコード数およびそのエラーの原因の統計が示されます。CDR データのロード中に CAR で CDR データ エラーが発生したかどうかを特定するには、このレポートを使用します。このレポートには、無効である CDR の割合 (%)、および、CDR が無効であると分類された原因のリストが表示されます。

ユーザの検索

CAR の多くのレポートには検索機能があるため、ユーザを検索できます。次の CAR システム レポートでは、ユーザによる検索がサポートされています。QoS の詳細レポート、電話番号別トラフィックの要約レポート。[レポートの送信 (Send Report)] ボタンを使用すると、生成可能なすべてのレポートを電子メールで送信できます。

始める前に

ユーザを検索できるようにするには、[システム レポート (System Reports)] にあるウィンドウを使用する必要があります。

この項では、ユーザを検索する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [ユーザの検索 (Search Users)] リンクをクリックします。

[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [名 (First Name)] フィールドおよび[姓 (Last Name)] フィールドに、ユーザの名または姓の文字を入力し、[検索 (Search)] をクリックします。

同じウィンドウに[ユーザ検索結果 (User Search Results)] ウィンドウが表示され、入力した検索基準に一致するすべてのユーザのリストが表示されます。

ステップ 3 必要なユーザの行で、[選択 (Select)] リンクをクリックします。

選択したユーザが、[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウの[ユーザのリスト (List of Users)] に追加されます。この手順を繰り返して、ユーザを追加します。

ステップ 4 すべてのユーザを追加したら、[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウで[閉じる (Close)] をクリックします。

QoS システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別のコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

CAR 管理者だけが、QoS の詳細レポートを生成します。レポートには、指定された期間に Unified Communications Manager ネットワークで受信コールと発信コールに分類される QoS レーティングの詳細が表示されます。

マネージャまたは CAR 管理者が、QoS 要約レポートを生成します。レポートには、指定されたコールの分類および期間に達成された QoS グレードの分布を示す 2 次元円グラフが示されます。また、レポートには、各 QoS のコールが要約された表も示されます。[QoS 値の定義](#)に示されている CDR パラメータ、CMR パラメータ、および QoS パラメータのコール詳細により、特定の音声品質カテゴリをコールに割り当てるための基礎情報が示されます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CAR レポートの自動生成とアラート](#)を参照してください。

QoS パラメータの演算子

次の表に、QoS レポートの生成に使用する QoS パラメータの演算子を示します。

表 1: QoS パラメータの演算子

演算子	説明
>=	ジッター、遅延、損失パケットのデータが指定された値以上のときに生成する場合に、この演算子を選択します。
=	ジッター、遅延、損失パケットのデータが指定された値と等しいときに生成する場合に、この演算子を選択します。
<=	ジッター、遅延、損失パケットのデータが指定された値以下のときに生成する場合に、この演算子を選択します。
N.A.	ジッター、遅延、損失パケットのデータを除外する場合に、この演算子を選択します。

演算子	説明
Between	ジッター、遅延、損失パケットのデータが、ある値と別の値の間に発生したときに生成する場合に、この演算子を選択します。この演算子を選択した場合は、2 番目のフィールドが表示され、開始値と終了値を設定できます。

QoS の詳細レポートの生成

この項では、システム QoS に関する詳細情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [システム レポート (System Reports)] > [QoS] > [詳細 (Detail)] を選択します。

[QoS の詳細 (QoS Detail)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [コールタイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。次の表にコールタイプを示します。

表 2: QoS の詳細レポートのコールタイプ

コールタイプ	説明
オンネット (On Net)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CARの目的として、コールが[CARダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが[オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。詳細については、 ダイアルプランの設定 を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。

コールタイプ	説明
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

ステップ 3 [QoSの選択 (Select QoS)] 領域で、レポートに含まれる音声品質カテゴリのチェックボックスをオンにします。次の表のパラメータセットが、全音声品質カテゴリの基準を提供します。

表 3: QoSの詳細レポートの音声品質

音声品質	説明
Good	これらのコールの QoS は、可能な最も高い品質を示します。
Acceptable	これらのコールの QoS は、少し劣化していますが、依然、受け入れ可能な範囲内です。
Fair	これらのコールの QoS は劣化していますが、依然、使用可能な範囲内です。
Poor	これらのコールの QoS は、満足できない品質を示しています。
NA	これらのコールは、確立されている QoS カテゴリのいずれの基準にも一致しません。

ステップ 4 QoS 情報を参照する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 5 [ユーザの選択 (Select Users)] フィールドで、すべてのユーザを選択するか、または特定のユーザを検索することができます。すべてのユーザを選択する場合は、[すべてのユーザを選択 (Select All Users)] チェックボックスをオンにします。個人ユーザを選択する場合は、[ユーザ ID (User ID)] フィールドに個人のユーザのユーザ ID を入力し、[追加 (Add)] をクリックします。

(注) 用意されている検索機能を使用することもできます。[ユーザの検索 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ 6** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 7** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 8** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

QoS の要約レポートの生成

この項では、システム QoS に関する要約情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

- ステップ 1** 次のいずれかの手順を実行します。
- マネージャの場合、[QoS] > [概要 (Summary)] を選択します。
 - CAR 管理者の場合は、[システム レポート (System Reports)] > [QoS] > [要約 (Summary)] を選択します。
- [QoS の要約 (QoS Summary)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポートを選択して（選択可能な場合）次の手順に進むか、またはデフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用して、次の手順に進みます。
- (注) 自動生成レポートは、CAR 管理者としてログインしている場合のみ選択できます。マネージャとしてログインしている場合、自動生成レポートは、ドロップダウン リストボックスに表示されません。
- ステップ 3** [コール タイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコール タイプのチェックボックスをオンにします。次の表にコール タイプを示します。

表 4: QoS の要約レポートのコール タイプ

コール タイプ	説明
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。

コールタイプ	説明
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

- ステップ 4** 前の手順で [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合は、レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。
- ステップ 5** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 6** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 7** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート](#)で説明されている手順を実行します。

ゲートウェイ別 QoS レポートの生成

CAR 管理者だけが、ゲートウェイごとの QoS レポートを生成します。レポートには、選択されたゲートウェイに対して、指定された期間に選択された QoS 基準を満たすコールの割合 (%) が示されます。



注意 CARは、システムの負荷が低いときにだけ使用してください。負荷が高いときに使用すると、データ収集およびレポート生成によって、Unified Communications Manager システムのパフォーマンスが低下する可能性があります。

この項では、選択したすべてのゲートウェイに関する QoS 情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

始める前に

[ゲートウェイの設定](#) で説明されている手順を使用して、ゲートウェイを設定します。

手順

- ステップ 1** [システムレポート (System Reports)] > [QoS] > [ゲートウェイ別 (By Gateways)] を選択します。
- [ゲートウェイ別のQoS (QoS based on Gateways)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Reports)] フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 5: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	選択されたゲートウェイごとに、 ステップ 6 (11 ページ) で指定した期間に QoS 基準を満たしているコールの割合 (%) が表示されます。時刻に対する割合 (%) の結果が示されます。
曜日 (Day of Week)	選択されたゲートウェイごとに、 ステップ 6 (11 ページ) で指定した期間に QoS 基準を満たしているコールの割合 (%) が表示されます。曜日に対する割合 (%) の結果が示されます。
日付 (Day of Month)	選択されたゲートウェイごとに、 ステップ 6 (11 ページ) で指定した期間に QoS 基準を満たしているコールの割合 (%) が表示されます。割合 (%) の結果は、日付に対して示されます。

- ステップ 3** [ジッター (Jitter)] フィールドで、使用する演算子を選択し、ジッターの値を入力します。演算子の説明については、[表 1: QoS パラメータの演算子 \(5 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 4** [遅延 (Latency)] フィールドで、使用する演算子を選択し、遅延の値を入力します。演算子の説明については、[表 1: QoS パラメータの演算子 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ5** [損失パケット (Lost Packets)]フィールドで、使用する演算子を選択し、損失パケット数の値を入力します。演算子の説明については、[表 1: QoS パラメータの演算子 \(5 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ6** コール情報を見たい期間の日付範囲を選択します。
- ステップ7** レポートに含めるゲートウェイを選択する場合は、次のいずれかのタスクを実行します。
- a) システムで設定されているすべてのゲートウェイを表示する場合は、ウィンドウの左側にあるカラムで [ゲートウェイ タイプ (Gateway Types)] をクリックします。
 - b) ツリー構造を展開して、選択できるゲートウェイ タイプを表示するには、[ゲートウェイ タイプ (Gateway Types)] の横にあるアイコンをクリックします。
 - c) ゲートウェイ タイプではなく特定のルートパターンおよびハントパイロットを使用してゲートウェイを選択する場合は、ウィンドウの左側にあるカラムで、[ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] をクリックします。ツリー構造が展開され、設定されているルートパターンまたはハントパイロットに関連付けられているゲートウェイが表示されます。
 - d) ツリー構造を展開して、選択できるルートパターン/ハントパイロットを表示するには、[ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] の横にあるアイコンをクリックします。
- (注) ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] ボックスにルートパターン/ハントパイロットの名前の一部を入力することにより、特定のルートパターン/ハントパイロットを検索することもできます。CAR により、検索文字列に一致するルートパターンまたはハントパイロットが検索されます。
- ステップ8** リストから、ゲートウェイ タイプを選択します。
- ゲートウェイの名前が、[ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスに表示されます。
- (注) [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスには、選択したゲートウェイ タイプに設定されたゲートウェイが最大 200 まで表示されます。
- ステップ9** [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスで、レポートに含めるゲートウェイを選択します。
- (注) 一度に最大 15 のゲートウェイのレポートを生成できます。16 以上のゲートウェイを選択すると、「新しいレポートを生成する 15 個以下のゲートウェイを選択してください (Select 15 or fewer gateways to generate new report) 」 「 」 というメッセージが表示されます。
- ステップ10** 下矢印アイコンをクリックして、選択したゲートウェイを [Selected Gateways] ボックスのリストに移動します。
- 選択したゲートウェイが、[選択されたゲートウェイ (Selected Gateways)] ボックスに表示されます。

- ステップ 11** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 12** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 13** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

コールタイプ別 QoS レポートの生成

CAR 管理者だけが、コールタイプ別 QoS レポートを生成します。レポートには、選択したタイプのすべてのコールについて、指定された期間における、ジッター、遅延、および損失パケットの情報が示されます。

この項では、特定のタイプのすべてのコールに関する QoS 情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。



注意 CAR は、システムの負荷が低いときにだけ使用してください。負荷が高いときに使用すると、データ収集およびレポート生成によって、Unified Communications Manager システムのパフォーマンスが低下する可能性があります。

手順

- ステップ 1** [システム レポート (System Reports)] > [QoS] > [コールタイプ別 (By Call Types)] を選択します。
- [コールタイプ別の QoS (QoS based on Call Types)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Report)] フィールドで、時間を選択します。各パラメータについては、次の表で説明しています。

表 6: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	コールタイプごとに、 ステップ 7 (14 ページ) で指定した期間に QoS 基準を満たしているコールの割合 (%) が表示されます。時刻に対する割合 (%) の結果が示されます。
曜日 (Day of Week)	コールタイプごとに、 ステップ 7 (14 ページ) で指定した期間に QoS 基準を満たしているコールの割合 (%) が表示されます。曜日に対する割合 (%) の結果が示されます。

パラメータ	説明
日付 (Day of Month)	コールタイプごとに、 ステップ7 (14ページ) で指定した期間に QoS 基準を満たしているコールの割合 (%) が表示されます。日付に対する割合 (%) の結果が示されます。

- ステップ3** [ジッター (Jitter)]フィールドで、使用する演算子を選択し、ジッターの値を入力します。演算子の説明については、[表1: QoS パラメータの演算子 \(5ページ\)](#)を参照してください。
- ステップ4** [遅延 (Latency)]フィールドで、使用する演算子を選択し、遅延の値を入力します。演算子の説明については、[表1: QoS パラメータの演算子 \(5ページ\)](#)を参照してください。
- ステップ5** [損失パケット (Lost Packets)]フィールドで、使用する演算子を選択し、損失パケット数の値を入力します。演算子の説明については、[表1: QoS パラメータの演算子 \(5ページ\)](#)を参照してください。
- ステップ6** [コールタイプの選択 (Select Call Types)]領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。次の表にコールタイプを示します。

表 7: コールタイプ別 QoS パラメータ

コールタイプ	説明
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。

コール タイプ	説明
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

ステップ 7 コール情報を確認する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 8 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 9 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 10 レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

トラフィック システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別のコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

CAR 管理者だけが、トラフィックの要約レポートを生成できます。このレポートには、指定した期間でのコール量についての情報が示されます。選択したコールタイプおよび QoS 音声品質カテゴリだけが含まれます。



ヒント トラフィックの要約レポートを生成するように CAR を設定する場合、異なるコールタイプ ([オンネット (OnNet)]、[内部 (Internal)]、[ローカル (Local)]、[長距離 (Long Distance)] など) を選択できます。CAR では、毎時間トラフィックの量が比較され、トラフィック量が最も高い時刻が特定されます (Busy Hour Call Completion (BHCC) の数)。全般的な BHCC 数を取得するには、CAR を設定するときにすべてのコールタイプを選択します。レポートタイトルの下の別の行に、その日の BHCC 数が表示されます。

CAR 管理者だけが、電話番号別トラフィックの要約レポートを生成できます。レポートには、指定した期間および一連の電話番号のコール量についての情報が示され、選択したコールタイプおよび電話番号だけが含まれます。



ヒント このレポートを使用して、指定したユーザグループ、部門、ロビーや会議室の電話などの別の基準でコールの使用状況を追跡できます。このレポートは、週ごとに生成するように設定できます。このレポートでは、指定するユーザ全体における使用状況レベルを集約することによって、使用率が高いユーザまたはグループを特定できます。

トラフィックの要約レポートの生成

CAR 管理者だけが、トラフィックの要約レポートを生成します。このレポートには、指定した期間でのコール量についての情報が示されます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。詳細については、[CDR ロードスケジュールの設定](#)を参照してください。

この項では、システムトラフィックに関する要約情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [システムレポート (System Reports)]>[トラフィック (Traffic)]>[要約 (Summary)] を選択します。

[トラフィックの要約 (Traffic Summary)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [レポートの作成 (Generate Report)] フィールドで、時間を選択します。各パラメータについては、次の表で説明しています。

表 8: [レポートの作成 (Generate Report)]フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	<p>ステップ 4 (16 ページ) で指定した期間でのシステムの平均コール数、ステップ 5 (16 ページ) で指定したコールタイプ、ステップ 6 (18 ページ) で指定した時刻での QoS の値が表示されます。</p> <p>ステップ 4 (16 ページ) で指定した期間が 1 日以内の場合、毎時間トラフィックの量が比較され、トラフィック量が最も高い時刻のトラフィック量がその日の BHCC 数として特定されます。</p>
曜日 (Day of Week)	<p>ステップ 4 (16 ページ) で指定した期間でのシステムの平均コール数、ステップ 5 (16 ページ) で指定したコールタイプ、ステップ 6 (18 ページ) で指定した曜日での QoS の値が表示されます。</p>
日付 (Day of Month)	<p>ステップ 4 (16 ページ) で指定した期間でのシステムの平均コール数、ステップ 5 (16 ページ) で指定したコールタイプ、ステップ 6 (18 ページ) で指定した日付での QoS の値が表示されます。</p>

- ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports)]フィールドで、自動生成されたレポートを選択して (選択可能な場合) ステップ 8 (18 ページ) に進むか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)]を使用して ステップ 4 (16 ページ) に進みます。
- ステップ 4** レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。
- ステップ 5** [コールタイプの選択 (Select Call Types)]領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。特定の時間または 24 時間の期間における全般的な BHCC 数を取得するには、すべてのコールタイプを選択します。次の表にコールタイプを示します。

表 9: コールタイプ別トラフィックの要約

コールタイプ	説明
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされた市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
その他 (Others)	フリーダイアル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

(注) 図または表で示されているコールには、1日あたりの平均コール数が含まれます。生成されたデータが少なく、長い日付範囲を選択している場合、レポートでは、非常に小さい値が 0 として扱われ、グラフは表示されません。たとえば、8日間分の曜日レポートが生成され、月曜日が2回含まれている場合、月曜日に示されるデータは、両方の月曜日の平均コール数 (各月曜日のすべてのコール数を合計して、2で割る) を表します。同様に、時刻レポートで、05-06 に対して表示されるデータは、レポートに選択された日付範囲の 5 時と 6 時の間のコール数の、1日あたりの平均数を表します。

ステップ 6 [QoSの選択 (Select QoS)] 領域で、レポートに含める音声品質カテゴリのチェックボックスをオンにします。次の表のパラメータが、全音声品質カテゴリの基準を提供します。

表 10: QoSの詳細レポートの音声品質

音声品質	説明
Good	これらのコールのQoSは、可能な最も高い品質を示します。
Acceptable	これらのコールのQoSは、少し劣化していますが、依然、受け入れ可能な範囲内です。
Fair	これらのコールのQoSは劣化していますが、使用可能な範囲内にあります。
Poor	音声品質 [Poor] は、これらのコールのQoSが不十分であることを示しています。
NA	これらのコールは、確立されているQoSカテゴリのいずれの基準にも一致しません。

ステップ 7 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 8 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 9 レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

電話番号別トラフィックの要約レポートの生成

CAR 管理者だけが、電話番号別トラフィックの要約レポートを生成します。このレポートには、指定した期間および一連の電話番号のコール量に関する情報が示されます。

この項では、ユーザの電話番号に基づいたトラフィックの要約レポートを生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [システム レポート (System Reports)] > [トラフィック (Traffic)] > [電話番号別の要約 (Summary By Phone Number)] を選択します。

電話番号に基づき、[トラフィックの要約 (Traffic Summary)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [レポートの作成 (Generate Report)] フィールドで、時間を選択します。各パラメータについては、次の表で説明しています。

表 11:[レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	<p>選択した時刻の日付範囲での、選択した電話番号に対するシステム内の平均コール数を表示します。</p> <p>(注) 日付と時刻の範囲が1ヵ月を超えないようにしてください。</p>
曜日 (Day of Week)	<p>選択された日付範囲の曜日について、システム上にある選択された電話番号での平均コール数が表示されます。</p> <p>(注) 日付と時刻の範囲が1ヵ月を超えないようにしてください。</p>
日付 (Day of Month)	<p>選択された日付範囲の曜日について、システム上にある選択された電話番号での平均コール数が表示されます。</p> <p>(注) 日付と時刻の範囲が1ヵ月を超えないようにしてください。</p>

ステップ 3 [コールタイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。次の表にコールタイプを示します。

表 12:コールタイプ別トラフィックの要約 (電話番号)

コールタイプ	説明
オン ネット (On Net)	<p>1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (On Net)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。</p>

コールタイプ	説明
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

(注) 図または表で示されているコールには、1日あたりの平均コール数が含まれます。生成されたデータが少なく、長い日付範囲を選択している場合、レポートでは、非常に小さい値が 0 として扱われ、グラフは表示されません。たとえば、8日間分の曜日レポートが生成され、月曜日が2回含まれている場合、月曜日に示されるデータは、両方の月曜日の平均コール数 (各月曜日のすべてのコール数を合計して、2で割る) を表します。同様に、時刻レポートで、05-06 に対して表示されるデータは、レポートに選択された日付範囲の 5 時と 6 時の間のコール数の、1日あたりの平均数を表します。

ステップ 4 [電話番号の選択 (Select Phone Number)] グループボックスで、すべての電話番号を選択するか、またはユーザに基づき電話番号を検索することができます。

(注) 電話番号の検索には、「!」や「X」などのワイルドカードパターンを入力できます。「!」は、各桁が 0～9 の任意の n 桁を表し、「X」は、0～9 の範囲の 1 桁を表します。

すべての電話番号を選択する場合は、[すべての電話番号を選択 (Select All Phone Number(s))] チェックボックスをオンに設定します。ユーザに基づき電話番号を選択する場合は、[電話番号 (Phone Number)] フィールドにユーザの電話番号を入力し、[電話番号の追加 (Add Phone

Number)] ボタンをクリックします。 [ユーザの検索 \(4 ページ\)](#) で説明されているように、用意されている検索機能を使用することもできます。

ステップ 5 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 6 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 7 レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

FAC/CMC システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロードバランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別のコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

CAR 管理者だけが、強制承認コード (FAC) レポートまたはクライアント識別コード (CMC) レポートを生成できます。

次の各項では、FAC/CMC レポートの設定方法について説明します。

クライアント識別コード レポートの生成

CAR 管理者だけが、クライアント識別コード レポートを生成できます。発信元 (発信者番号)、接続先 (着信者番号)、発信日時 (コールが発信された日付と時刻)、接続時間 (コールの接続時間 (秒単位))、各 CMC に関連するコール分類を示すレポートを生成できます。

次の手順では、特定のクライアント識別コードの使用状況を示すレポートを生成する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** [システム レポート (System Reports)] > [FAC/CMC] > [クライアント識別コード (Client Matter Code)] を選択します。
- [クライアント識別コードのコール詳細 (Call Details for Client Matter Code)] ウィンドウに、システムで設定されているすべてのクライアント識別コードのリストが表示されます。
- ステップ 2** [クライアント識別コードのリスト (List of Client Matter Codes)] ボックスで、レポートに含めるコードを選択します。
- (注) 最大 100 個のクライアント識別コードを選択できます。
- ステップ 3** 選択したコードを [選択されたクライアント識別コード (Selected Client Matter Codes)] ボックスに追加するには、下矢印をクリックします。
- レポートには、このボックスにリスト表示されている、データが使用可能なすべてのコードが含まれます。
- ステップ 4** [開始日 (From Date)] プルダウン リスト ボックスと [終了日 (To Date)] プルダウン リスト ボックスに、クライアント識別コード情報を表示する期間の日付範囲を入力します。
- ステップ 5** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 6** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 7** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。
-

承認コード名レポートの生成

CAR 管理者だけが、承認コード名レポートを生成できます。発信元 (発信者番号)、接続先 (着信者番号)、発信日時 (コールが発信された日付と時刻)、接続時間 (コールの接続時間 (秒単位))、選択した各承認コード名に関連するコール分類を示すレポートを生成できます。



- (注) セキュリティ保護のため、承認コードは表示されません。代わりに、承認コード名 (説明) が表示されます。
-

次の手順では、特定の承認コード名の使用状況を示すレポートを生成する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** [システムレポート (System Reports)] > [FAC/CMC] > [承認コード名 (Authorization Code Name)] を選択します。
- [承認コード名のコール詳細 (Call Details for Authorization Code Name)] ウィンドウに、システムで設定されているすべての承認コード名のリストが表示されます。
- ステップ 2** [承認コード名のリスト (List of Authorization Code Names)] ボックスで、レポートに含めるコード名を選択します。
- (注) 最大 30 個のコード名を選択できます。
- ステップ 3** 選択したコード名を [選択された承認コード名 (Selected Authorization Code Names)] ボックスに追加する場合は、下矢印をクリックします。
- レポートには、このボックスにリスト表示されている、データが使用可能なすべてのコード名が含まれます。
- ステップ 4** [開始日 (From Date)] ドロップダウンリストボックスと [終了日 (To Date)] ドロップダウンリストボックスに、承認コード名の情報を表示する期間の日付範囲を入力します。
- ステップ 5** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 6** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 7** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート](#)で説明されている手順を実行します。
-

承認レベルレポートの生成

CAR管理者だけが、承認レベルレポートを生成できます。発信元 (発信者番号)、接続先 (着信者番号)、発信日時 (コールが発信された日付と時刻)、接続時間 (コールの接続時間 (秒単位))、選択した各承認レベルに関連するコール分類を示すレポートを生成できます。

次の手順では、特定の承認レベルの使用状況を示すレポートを生成する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** [システムレポート (System Reports)] > [FAC/CMC] > [承認レベル (Authorization Level)] を選択します。
- [承認レベル別のコール詳細 (Call Details by Authorization Level)] ウィンドウに、システムで設定されているすべての承認レベルのリストが表示されます。

- ステップ 2** [承認レベルのリスト (List of Authorization Levels)] ボックスで、レポートに含めるレベルを選択します。
- ステップ 3** 選択したレベルを [選択された承認レベル (Selected Authorization Levels)] ボックスに追加する場合は、下矢印をクリックします。
- レポートには、このボックスにリスト表示されている、データが使用可能なすべてのレベルが含まれます。
- (注) ルートパターンに関連付けられている FAC 承認レベル レポートだけが生成されます。
- ステップ 4** [開始日 (From Date)] ドロップダウンリストボックスと [終了日 (To Date)] ドロップダウンリストボックスに、承認レベル情報を表示する期間の日付範囲を入力します。
- ステップ 5** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 6** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 7** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

迷惑呼の詳細システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別のコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

迷惑呼の詳細システム レポートの生成

CAR 管理者だけが、迷惑呼の詳細レポートを生成します。レポートには、特定の日付範囲に発生した迷惑呼について、発信時刻、停止時刻、接続時間 (秒単位)、発信元 (発信者番号)、接続先 (着信者番号)、発信元デバイス、接続先デバイス、コール分類の詳細が表示されます。

この項では、迷惑呼の詳細レポートを生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [システムレポート (System Reports)] > [迷惑呼の詳細 (Malicious Call Details)] を選択します。

[迷惑呼の詳細 (Malicious Call Details)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [開始日 (From Date)] ドロップダウン リスト ボックスで、迷惑コールの詳細の取得を開始する年、月、日を選択します。

ステップ 3 [終了日 (To Date)] ドロップダウン リスト ボックスで、迷惑コールの詳細の取得を終了する年、月、日を選択します。

ステップ 4 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 5 レポートを表示する場合は、[レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 6 電子メール受信者にレポートを送信する場合は、[メールレポート](#) を参照してください。

優先コールの要約システムレポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別のコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

優先コールの要約レポートの生成

CAR 管理者だけが、優先順位別のコールの要約レポートを生成します。レポートには、時刻、曜日、日付ごとに、ユーザが選択した優先順位値別のコールの要約が表示されます。

この項では、優先順位別のコールの要約レポートを生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [システム レポート (System Reports)] > [優先コールの要約 (Precedence Call Summary)] を選択します。

[優先順位別のコールの要約 (Call Summary by Precedence)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [レポートの作成 (Generate Reports)] フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 13: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	選択した時刻の日付範囲での、選択した電話番号に対するシステム内の平均コール数を表示します。 (注) 日付と時刻の範囲が1ヵ月を超えないようにしてください。
曜日 (Day of Week)	選択した曜日の日付範囲での、選択した電話番号に対するシステム内の平均コール数を表示します。 (注) 日付と時刻の範囲が1ヵ月を超えないようにしてください。
日付 (Day of Month)	選択した日付の日付範囲での、選択した電話番号に対するシステム内の平均コール数を表示します。 (注) 日付と時刻の範囲が1ヵ月を超えないようにしてください。

ステップ 3 [優先レベルの選択 (Select Precedence Levels)] フィールドで、レポートに含める優先レベルをオンに設定します。すべての優先レベルをオンに設定する場合は、[すべて選択 (Select All)] を選択します。

表 14: コールの優先レベル

音声品質	説明
フラッシュ オーバーライド (Flash Override)	MLPP コールで最も高い優先度設定。

音声品質	説明
フラッシュ (Flash)	MLPP コールで 2 番目に高い優先度設定。
即時 (Immediate)	MLPP コールで 3 番目に高い優先度設定。
プライオリティ (Priority)	MLPP コールで 4 番目に高い優先度設定。
標準 (Routine)	MLPP コールで最も低い優先度設定。

(注) [管理 (Administration)] ページの MLPP 優先レベルに記載されているエグゼクティブオーバーライド優先レベルは、このレポートではフラッシュオーバーライドと見なされます。

(注) 優先レベルのチェックボックスをオフにする場合は、[すべてクリア (Clear All)] をクリックします。

ステップ 4 [開始日 (From Date)] ドロップダウン リスト ボックスで、優先レベルの要約情報を取得する期間の開始年、月、日を選択します。

ステップ 5 [終了日 (To Date)] ドロップダウン リスト ボックスで、優先レベルの要約情報を取得する期間の終了年、月、日を選択します。

ステップ 6 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 7 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 8 電子メール受信者にレポートを送信する場合は、[メール レポート](#) を参照してください。

システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別の各コールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

システム レポートの生成

CAR 管理者だけが、システム レポートのセット全体が 1 つのレポートで提供されるシステム 概要レポートを生成します。

システム概要レポートには、次の情報が含まれます。

- 料金に基づく上位 5 人のユーザ。
- 料金を基準とした上位 5 件の接続先。
- 料金に基づく上位 5 件のコール。
- 接続時間に基づく上位 5 人のユーザ。
- 接続時間を基準とした上位 5 件の接続先。
- 接続時間を基準とした上位 5 件のコール。
- トラフィックの要約 - 時間：着信コール、内部電話、国際電話、市内電話、長距離電話、オン ネット コール、その他のコール、タンデム コール、および全コール。
- トラフィックの要約 - 曜日：着信コール、内部電話、国際電話、市内電話、長距離電話、オン ネット コール、その他のコール、タンデム コール、および全コール。
- トラフィックの要約 - 日付：着信コール、内部電話、国際電話、市内電話、長距離電話、オン ネット コール、その他のコール、タンデム コール、および全コール。
- QoS の要約。
- ゲートウェイの要約。

システム概要レポートの詳細については、[システム レポートの結果 \(32 ページ\)](#) を参照してください。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CDR ロード スケジュールの設定](#)を参照してください。

この項では、Unified Communications Manager システムに関する要約情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [システム レポート (System Reports)] > [システム概要 (System Overview)] を選択します。

[システム概要 (System Overview)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポート (選択可能な場合) を選択して [ステップ 6 \(29 ページ\)](#) に進むか、またはデフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用し、[ステップ 3 \(28 ページ\)](#) に進みます。

ステップ 3 レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 4 [レポートのリスト (List of Reports)] で、レポートを強調表示して生成するレポートを選択し、右矢印をクリックします。

選択したレポートが、[選択されたレポート (Selected Reports)] リストボックスに表示されます。

ヒント キーボードの **Ctrl** キーを押しながらレポートをクリックすると、一度に複数のレポートを選択できます。

ステップ 5 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 6 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 7 レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

CDR エラー システム レポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：ユーザ別のコールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

CDR エラー レポートの生成

CAR 管理者だけが、CDR エラー レポートを生成します。レポートには、特定の期間に CAR 課金エラー (tbl_billing_error) テーブル内のエラー レコード数の統計が示されます。

エラー レコードが CDR ロードに失敗した原因を特定するには、tbl_error_id_map テーブル内の情報を確認する必要があります。

次の表に、CDR エラー コードおよびエラーの定義を示します。

表 15: CDR エラー コード

エラー コード	定義
CDR	
31101	CDR globalCallID_callManagerId <= 0
31102	CDR globalCallID_callId <= 0
31103	CDR origLegCallIdentifier <= 0
31105	CDR dateTimeOrigination <= 0
31108	CDR destLegIdentifier <= 0
31110	CDR dateTimeConnect <= 0
31111	CDR dateTimeDisconnect <= 0
31119	CDR originalCalledPartyNumber は空である
31120	CDR finalCalledPartyNumber は空である
31122	CDR duration < 0
31137	UserID または ManagerID の取得中に CDR LDAP エラーが発生
31139	CDR callingPartyNumber は空である
31147	CDR origDeviceName は空である
31148	CDR destDeviceName は空である
31151	CDR origCallTerminationOnBehalfOf < 0
31152	CDR destCallTerminationOnBehalfOf < 0
31153	CDR lastRedirectRedirectOnBehalfOf < 0
31155	CDR destConversationId < 0
31156	CDR globalCallId_ClusterID は空である
Orig CMR	
31123	Orig CMR globalCallID_callManagerId <= 0
31124	Orig CMR globalCallID_callId <= 0
31125	Orig CMR numberPacketsSent < 0
31126	Orig CMR numberPacketsReceived < 0

エラーコード	定義
31127	Orig CMR jitter < 0
31129	Orig CMR callIdentifier <= 0
31149	Orig CMR deviceName は空である
31157	Orig CMR globalCallId_ClusterID は空である
Dest CMR	
31140	Dest CMR globalCallID_callManagerId <= 0
31141	Dest CMR globalCallID_callId <= 0
31142	Dest CMR numberPacketsSent < 0
31143	Dest CMR numberPacketsReceived < 0
31144	Dest CMR jitter < 0
31145	Dest CMR callIdentifier <= 0
31150	Dest CMR deviceName は空である
31158	Dest CMR globalCallId_ClusterID は空である

この項では、CDR エラー レポートに関する情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** [システム レポート (System Reports)] > [CDR エラー (CDR Error)] を選択します。
[CDR エラー (CDR Error)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。
- ステップ 3** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 4** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 5** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。
-

システム レポートの結果

この章では、各 CAR システム レポートの出力情報について説明します。

QoS の詳細レポートの結果

QoS の詳細レポートの結果には、次のフィールドが含まれます。次の表を参照してください。

表 16: QoS の詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
発信時刻 (Orig. Time)	24 時間表記の時刻、分、秒の形式でのコールが開始された時刻。
終了時刻 (Term. Time)	24 時間表記の時刻、分、秒の形式でのコールが切断された時刻。
接続時間 (秒) (Duration(s))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
[コールの分類 (Call Classification)] : コール カテゴリでクラスを指定します。	
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (On Net)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリア コードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。

フィールド	説明 (Description)
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。
発信コーデック (Orig. Codec)	発信元デバイスで使用されるコーデック。
着信コーデック (Dest. Codec)	接続先デバイスで使用されるコーデック。
発信元デバイス (Orig. Device)	コールを発信したデバイスの名前。
接続先デバイス (Dest. Device)	コールを受信したデバイスの名前。
発信QoS (Orig. QoS)	コールを発信したデバイスでの音声品質。
着信QoS (Dest. QoS)	コールを受信したデバイスでの音声品質。

次の図に、PDF 形式の QoS の詳細レポートの出力例を示します。

図 1: QoS の詳細レポート

Orig. Time	Term. Time	Duratio n (sec)	Orig.	Dest.	Call Classification	Orig. Codec	Dest. Codec	Orig Device	Dest Device	Orig. QoS	Dest. QoS
Jan 17, 2008											
7:09:14 PM	7:09:17 PM	3	1002	1003	Internal	G711Ulaw 64k	G711Ulaw 64k	SEP00001111 0003	SEP00001111 0004	NA	NA
7:09:14 PM	7:09:17 PM	3	1000	1001	Internal	G711Ulaw 64k	G711Ulaw 64k	SEP00001111 0001	SEP00001111 0002	NA	NA
7:09:14 PM	7:09:17 PM	3	1004	1005	Internal	G711Ulaw 64k	G711Ulaw 64k	SEP00001111 0005	SEP00001111 0006	NA	NA
7:09:14 PM	7:09:17 PM	3	1008	1009	Internal	G711Ulaw 64k	G711Ulaw 64k	SEP00001111 0009	SEP00001111 000A	NA	NA
7:09:14 PM	7:09:17 PM	3	1006	1007	Internal	G711Ulaw 64k	G711Ulaw 64k	SEP00001111 0007	SEP00001111 0008	NA	NA
7:09:18 PM	7:09:21 PM	3	1002	1003	Internal	G711Ulaw 64k	G711Ulaw 64k	SEP00001111 0003	SEP00001111 0004	NA	NA

280/403

QoS の要約レポートの結果

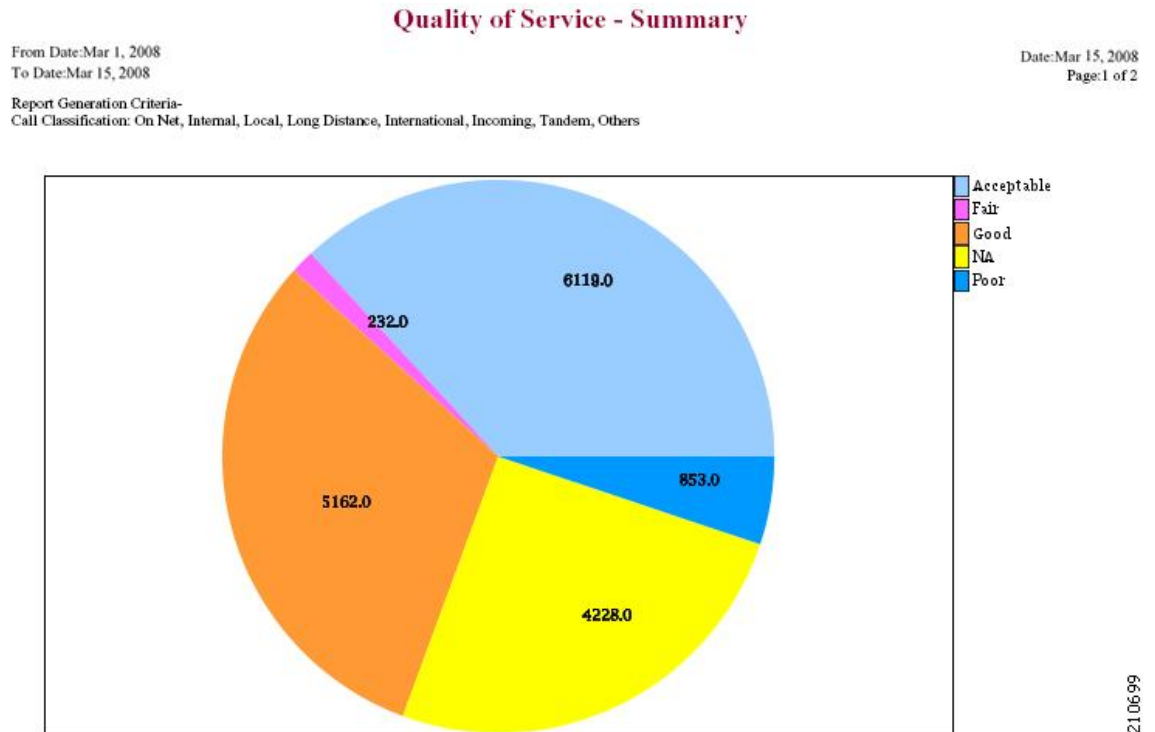
QoS の要約レポートには、次のフィールドが含まれます。表を参照してください。レポートの出力に PDF 形式を選択した場合、レポートには、コールの合計数の QoS を示す円グラフが表示されます。

表 17: QoS の要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
QoS (Quality of Service)	コールの QoS。
コール レッグ (Call Legs)	[QoS (Quality of Service)] フィールドで指定された QoS のコール レッグの数。

図 2: PDF 形式の QoS の要約レポート (35 ページ) に、PDF 形式の QoS 概要レポートの出力例を示します。

図 2: PDF形式の QoSの要約レポート



ゲートウェイ別 QoS レポートの結果

ゲートウェイ別 QoS レポートには、次の情報が示されます。表を参照してください。

表 18: ゲートウェイ別 QoS レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	選択した日付範囲にあるすべての時刻、曜日、または日付が表示されます。
コール レッグの割合 (% of Call Legs)	選択した日付範囲にある時刻、曜日、または日付における、各ゲートウェイのコールの割合 (%) が表示されます。

図 3: ゲートウェイ別 QoS レポート (36 ページ) に、PDF 形式のゲートウェイ別 QoS レポートの出力例を示します。

図 3: ゲートウェイ別 QoS レポート

QoS based on Gateways - Hour of Day

From Date: Jan 1, 2008
To Date: Jan 19, 2008

Date: Jan 19, 2008
Page: 1 of 2

Time	% of Call Legs
S0/DS1-0@SDA012345678912	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-00	0.00

280482

コールタイプ別 QoS レポートの結果

コールタイプ別 QoS レポートには、次の情報が示されます。表を参照してください。

表 19: コールタイプ別 QoS レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	選択した日付範囲にあるすべての時刻、曜日、または日付。
コールレッグの割合 (% of Call Legs)	選択した日付範囲にある時刻、曜日、または日付における、各ゲートウェイのコールの割合 (%)。

フィールド	説明 (Description)
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイアル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

図 4: コールタイプ別 QoS レポート (38 ページ) に、PDF 形式のコールタイプ別 QoS レポートの出力例を示します。

図 4: コールタイプ別 QoS レポート

QoS based on Call Types - Hour of Day

From Date: Jan 1, 2008
To Date: Jan 19, 2008

Date: Jan 19, 2008
Page: 1 of 16

Report Generation Criteria-
QoS: Jitter >= 1 ms; Latency >= 1 ms; LostPackets >= 1 %;

Time	% of Call Legs
Incoming	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-00	0.00

154082

トラフィックの要約レポートの結果

トラフィックの要約レポートおよび電話番号別トラフィックの要約レポートには同じ情報が含まれ、次のフィールドの一部またはすべてが含まれます。表を参照してください。別の行がレポートタイトルの下に表示され、その日の Busy Hour Call Completion (BHCC) の数が示されます。

表 20: トラフィックの要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	選択した日付範囲にあるすべての時刻、曜日、または日付。
平均コール数 (Average Number of Calls)	選択した日付範囲にある時刻、曜日、または日付における、各ゲートウェイのコールの割合 (%)。
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリア コードがないか、またはローカル エリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。

フィールド	説明 (Description)
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。
合計 (Total)	各時刻または各日のコールの合計数。

図 5: トラフィックの要約レポートの結果 (41 ページ) および図 6: 電話番号別トラフィックの要約レポートの結果 (42 ページ) に、PDF 形式のトラフィックの要約レポートおよび電話番号別トラフィックの要約レポートの出力例を示します。

図 5: トラフィックの要約レポートの結果

Traffic Summary - Hour of Day

From Date: Jan 1, 2008
To Date: Jan 19, 2008

Date: Jan 19, 2008
Page: 18 of 19

Report Generation Criteria:
Call Classification: On Net, Internal, Local, Long Distance, International, Incoming, Tandem, Others
QoS: Good, Acceptable, Fair, Poor, NA

BHCC: 19

Time	Average Number Of Calls
Total	
00-01	0
01-02	0
02-03	0
03-04	0
04-05	0
05-06	0
06-07	0
07-08	0
08-09	0
09-10	0
10-11	0
11-12	0
12-13	0
13-14	0
14-15	0
15-16	0
16-17	4
17-18	1
18-19	0
19-20	19
20-21	0
21-22	0
22-23	0
23-00	0

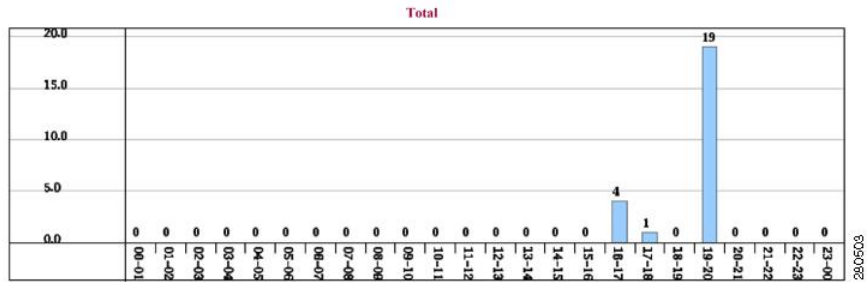
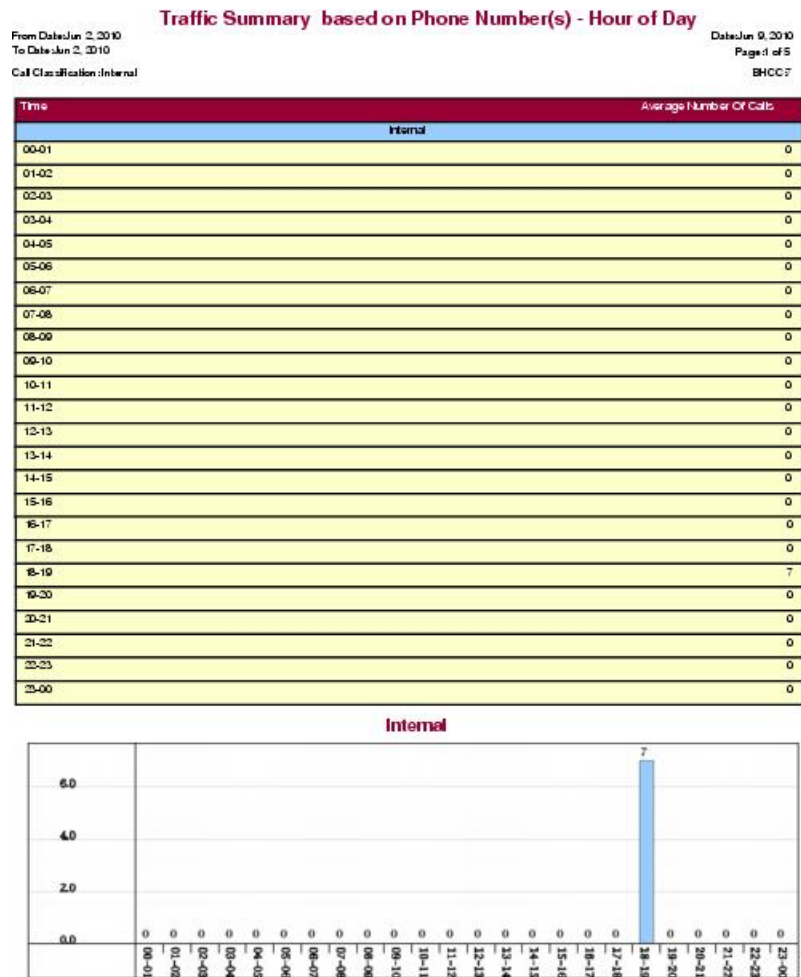


図 6: 電話番号別トラフィックの要約レポートの結果



承認コード名のコール詳細レポートの結果

このレポートには、特定の承認コード名の使用状況が示されます。セキュリティ保護のため、承認コード名（説明）が表示され、承認コードは表示されません。承認コード名のコール詳細レポートには、次のフィールドが含まれます（表を参照）。

表 21: 承認コード名のコール詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
発信日時 (Orig. Date Time)	コールが発信された日付と時刻。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。

フィールド	説明 (Description)
コールの分類 (Call Classification)	コールタイプ (内部、着信、など)。
承認レベル (Authorization Level)	選択された各承認コード名に対するコールの承認レベル。

図 7: 認可コード名コール詳細レポート (43 ページ) に、PDF 形式の承認コード名のコール詳細レポートの出力例を示します。

図 7: 認可コード名コール詳細レポート

Authorization Code Name Call Details

From Date: Jan 1, 2008
To Date: Jan 31, 2008

Date: Jan 31, 2008
Page: 1 of 1

Orig.	Dest.	Orig. Date Time	Duration (sec)	Call Classification	Authorization Level
Calls for Authorization Code Name : test					
1000	1001	Jan 31, 2008 11:08:34 AM	21	Internal	3
1000	1001	Jan 31, 2008 11:15:57 AM	23	Internal	3
1002	1001	Jan 31, 2008 11:16:32 AM	20	Internal	3
Total Calls for test : 3					

承認レベルのコール詳細レポートの結果

このレポートには、特定の承認レベルの使用状況が示されます。承認レベルのコール詳細レポートには、次のフィールドが含まれます (表を参照)。

表 22: 承認レベルのコール詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
発信日時 (Orig. Date Time)	コールが発信された日付と時刻。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
コールの分類 (Call Classification)	コールタイプ (内部、着信、など)。
承認コード名 (Authorization Code Name)	選択した各承認レベルの承認コード名。

図 8: 承認レベルのコール詳細レポート (44 ページ) に、PDF 形式の承認レベルのコール詳細レポートの出力例を示します。

図 8: 承認レベルのコール詳細レポート

Authorization Level Call Details

From Date: Mar 26, 2008
To Date: Mar 28, 2008

Date: Apr 1, 2008
Page: 1 of 2

Orig.	Dest.	Orig. Date Time	Duration (sec)	Call Classification	Authorization Code Name
Calls for Authorization Level : 1					
1000	1001	Mar 27, 2008 12:14:24 AM	5	Internal	national
1000	1001	Mar 27, 2008 12:14:24 AM	5	Internal	national
1000	1001	Mar 27, 2008 12:14:24 AM	5	Internal	national
Total Calls for 1 : 3					
Calls for Authorization Level : 3					
1000	1001	Mar 27, 2008 12:14:24 AM	5	Internal	local
1000	1001	Mar 27, 2008 12:14:24 AM	5	Internal	local
1000	1001	Mar 27, 2008 12:14:24 AM	5	Internal	local
Total Calls for 3 : 3					

1280 821

クライアント識別コードの詳細レポートの結果

レポートには、特定のクライアント識別コードの使用状況が示されます。クライアント識別コードの詳細レポートには、次のフィールドが含まれます（次の表を参照）。

表 23: 詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
発信日時 (Orig. Date Time)	コールが発信された日付と時刻。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
コールの分類 (Call Classification)	コールタイプ (内部、着信、など)。

図 9: クライアントマターコード詳細レポート (45 ページ) に、PDF 形式のクライアント識別コードの詳細レポートの出力例を示します。

図 9: クライアント マター コード 詳細レポート

Client Matter Code Call Details				
From Date: Jan 1, 2008 To Date: Jan 31, 2008			Date: Jan 31, 2008 Page: 1 of 1	
Orig.	Dest.	Orig. Date Time	Duration (sec)	Call Classification
Calls for Client Matter Code : 1234				
1000	1001	Jan 31, 2008 11:15:57 AM	23	Internal
1002	1001	Jan 31, 2008 11:16:32 AM	20	Internal
Total Calls for 1234 : 2				

280483

迷惑呼の詳細レポートの結果

迷惑呼の詳細レポートには、迷惑呼に関する情報が示されます。レポートには、次のフィールドが示されます。表を参照してください。

表 24: 迷惑呼の詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
発信時刻 (Orig. Time)	迷惑呼が発信された時刻。
終了時刻 (Term. Time)	迷惑呼が終了した時刻。
時間 (Duration)	迷惑コールの合計時間 (秒単位)。
発信 (Orig.)	発信元の DN。
着信 (Dest.)	着信先 DN。
発信元デバイス (Orig. Device)	発信元デバイスの名前。
接続先デバイス (Dest. Device)	宛先デバイスの名前。
コールの分類 (Call Classification)	迷惑呼の分類。

図 10: 迷惑呼の詳細レポート (46 ページ) に、PDF 形式の迷惑呼の詳細レポートの出力例を示します。

図 10: 迷惑呼の詳細レポート

Malicious Call Details

From Date: Jan 1, 2008
To Date: Jan 19, 2008

Date: Jan 19, 2008
Page: 1 of 9

Orig. Time	Term. Time	Duration (sec)	Orig.	Dest.	Orig Device	Dest Device	Call Classification
Jan 17, 2008 7:09:14 PM	Jan 17, 2008 7:09:17 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:18 PM	Jan 17, 2008 7:09:21 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:22 PM	Jan 17, 2008 7:09:25 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:26 PM	Jan 17, 2008 7:09:29 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:30 PM	Jan 17, 2008 7:09:34 PM	4	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:35 PM	Jan 17, 2008 7:09:38 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:39 PM	Jan 17, 2008 7:09:42 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:43 PM	Jan 17, 2008 7:09:46 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal
Jan 17, 2008 7:09:47 PM	Jan 17, 2008 7:09:50 PM	3	1002	1003	S0/DS1-0@SDA012345678912	S0/DS1-0@SDA012345678912	Internal

280,049

優先コールの要約レポートの結果

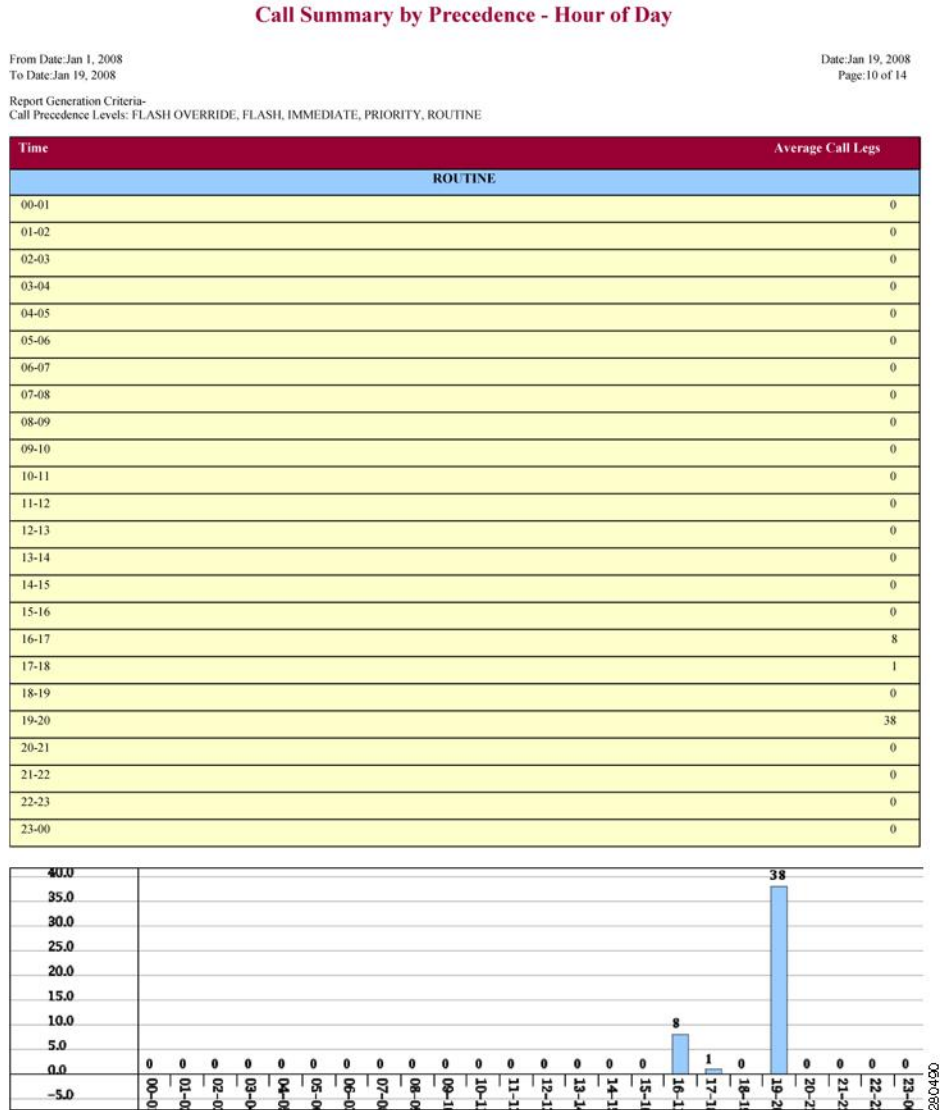
優先コールの要約レポートには、優先レベルに基づいたコールに関する情報が示されます。レポートには、選択した各優先レベルについて、「時間」、「曜日」、または「日付」のベースで、棒グラフの形式で、優先順位の値についてのコールの要約が表示されます。PDF形式でレポートを表示することを選択した場合、選択した各優先レベルについて、1つは棒グラフに反映される表、別の1つは「コール数」と「割合」が表示される表の、2つの表がレポートに表示されます。表を参照してください。

表 25: 優先コールの要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	選択した日付範囲にあるすべての時刻、曜日、または日付が表示されます。
コール レッグ (Call Legs)	時刻および日付による、各優先レベルのコール数。
優先レベル (Precedence Level)	コールの優先レベル値。
コール レッグ数 (No. of Call Legs)	優先レベルごとのコール レッグの数。
割合 (Percentage)	優先レベルごとのコールの割合 (%)。

図 11 : 優先コールの要約レポート (47 ページ) に、PDF 形式の時刻別優先コールの要約レポートの出力例を示します。

図 11: 優先コールの要約レポート



システム レポートの結果

システム概要には、Unified Communications Manager リリースのネットワークのすべての部分に関する情報が示されます。レポートには、次のセクションがあります。表を参照してください。

表 26: システム概要レポート

フィールド	説明 (Description)
料金を基準とした上位 5 人のユーザ (Top 5 Users based on Charge)	指定された日付範囲内で発生したコールのうち、最も高い料金が発生した上位 5 人のユーザの詳細が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果 を参照してください。
料金を基準とした上位 5 件の接続先 (Top 5 Destinations based on Charge)	指定された日付範囲内で発生したコールのうち、最も高い料金が発生した上位 5 件の着信者番号の詳細が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果 を参照してください。
料金を基準とした上位 5 件のコール数 (Top 5 Calls based on Charge)	指定された日付範囲内で発生したコールのうち、最も高い料金が発生した上位 5 件のコールの詳細が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果 を参照してください。
接続時間を基準とした上位 5 人のユーザ (Top 5 Users based on Duration)	指定された日付範囲内でのコールのうち、最も長い時間を費やした上位 5 人のユーザの詳細が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果 を参照してください。
接続時間を基準とした上位 5 件の接続先 (Top 5 Destinations based on Duration)	指定された日付範囲内で最も長い時間コールが接続されていた上位 5 件の着信者番号の詳細が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果 を参照してください。
接続時間を基準とした上位 5 件のコール (Top 5 Calls based on Duration)	指定された日付範囲で最も長い上位 5 件のコールの詳細が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果 を参照してください。

フィールド	説明 (Description)
トラフィックの要約レポート - 時間 (Traffic Summary Report - Hour of Day)	指定された日付範囲内の、時間ごとのコールの量が示されます。日付範囲が1日以内の場合、最も高いトラフィックの量 (BHCC 数) が発生した時刻が特定されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 トラフィックの要約レポートの結果 (38 ページ) を参照してください。
トラフィックの要約レポート - 曜日 (Traffic Summary Report - Day of Week)	指定された日付範囲内の、曜日ごとのコールの量が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 トラフィックの要約レポートの結果 (38 ページ) を参照してください。
トラフィックの要約レポート - 日付 (Traffic Summary Report - Day of Month)	指定された日付範囲内の、日ごとのコールの量が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 トラフィックの要約レポートの結果 (38 ページ) を参照してください。
QoS レポート - 要約 (Quality of Service Report - Summary)	指定された日付範囲内の、各音声品質カテゴリに分類されるコールの数が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 QoSの要約レポートの結果 (34 ページ) を参照してください。
ゲートウェイ要約レポート (Gateway Summary Report)	指定された日付範囲内の、各ゲートウェイでのコール分類と QoS、コール数、およびゲートウェイの各分類の接続時間の要約が示されます。システム概要レポートのこのセクションの詳細については、 ゲートウェイ別 QoS レポートの結果 (35 ページ) を参照してください。

CDR エラー レポートの結果

CDR エラー レポートには、次の情報が示されます。次の表を参照してください。

表 27: CDR エラー レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
Time	指定した日で、エラーが発生した時刻。
エラー CDR の数 (No of Error CDRs)	エラーが原因で CAR ロード中に処理されなかった CDR レコードの合計数。

フィールド	説明 (Description)
有効な CDR の数 (No of Valid CDRs)	CAR に正常にロードされた CDR レコードの合計数。
エラー CDR の% (% of Error CDRs)	ロードされたすべての CDR データ レコードのうち、障害が発生した CDR データ レコードの割合 (%)。

次の図に、PDF 形式の CDR エラー レポートの出力例を示します。

図 12: CDR エラー レポート

CDR Error

From Date: Jan 1, 2008
To Date: Jan 26, 2008

Date: Jan 26, 2008
Page: 1 of 2

Time	No. of Error CDRs	No. of valid CDRs	% of Error CDRs
00-01	0	0	0.00
01-02	0	0	0.00
02-03	0	0	0.00
03-04	0	0	0.00
04-05	0	0	0.00
05-06	0	0	0.00
06-07	0	0	0.00
07-08	0	0	0.00
08-09	0	0	0.00
09-10	0	0	0.00
10-11	0	0	0.00
11-12	0	3	0.00
12-13	0	2	0.00
13-14	0	0	0.00
14-15	0	2	0.00
15-16	0	0	0.00
16-17	0	23	0.00
17-18	0	4	0.00
18-19	0	0	0.00
19-20	0	0	0.00
20-21	0	0	0.00
21-22	0	0	0.00
22-23	0	0	0.00
23-00	0	0	0.00

200480

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。